

平成19年4月4日

新宿区長

法人名 ホロコースト教育資料センター
 所在地 〒160-0015
 東京都新宿区 22-1
 HAKUYOHビル6階
 (フリガナ) イシオカフミコ
 代表者氏名 石岡 史子

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	先生・保護者向けセミナー「命と人権を尊ぶ心を育てる授業づくり」 ～ハンナのかばんを教材に
実施日時又は期間	第1回 2006年9月23日 14時～16時 第2回 2006年10月21日 14時～16時
対象者の範囲及び人数	第1回 11名、第2回 13名、合計24名
事業内容	先生と保護者を対象に、ホロコースト(ナチスによるユダヤ人虐殺)で犠牲となった少女の遺品「ハンナのかばん」を教材とし、命の授業づくりを考えるセミナーを実施した。参加者を通して、子どもたちに命の尊さ、思いやりの心の大切さを伝える授業の実践に役立てられることを目的とする。第1回では当NPOが行ってきた学校訪問授業の教材「ハンナのかばん」を紹介。家族、命、生きる勇気など、子どもたちから寄せられた感想を紹介しつつ命の授業づくりについて考えた。第2回では、収容所内で子どもたちが隠れて書いた新聞や絵、昨年見つけたハンナの兄の日記から、自由のない中でも学ぶことをやめなかった子どもたち、それを支えた大人たちの様子を振り返った。
具体的な活動状況	2006年7月より、セミナー開催の告知をチラシ(2800枚)やホームページ、ニュースレター、メールマガジンで始めた。新宿区立のすべての小学校、中学校、図書館にチラシを配布。17年度新宿区協働推進基金助成事業では子どもたち対象の「ハンナのかばん・ミニフォーラム」を開催し、その報告も含め冊子「ハンナのかばん・スタディーガイド」を作成したが、これを多くの先生方に活用してもらうため、セミナー内容の準備をすすめた。
事業の成果	区内外から保育園の先生、小中学校の先生、高校の先生、保護者、大学生などの参加があり、より広く教材「ハンナのかばん」を紹介することができた。参加者からは、子どもたちに向けた命や平和の授業を組み立てる際のきっかけをもらうことができたとの感想をもらった。セミナーに参加した新宿区立小学校の先生を通じ、新宿区の小学校から初めて学校訪問授業の依頼を受けることができた。

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			48,729 円
	参加費・資料代等	セミナー第一回参加費 500 円×13 名=6,500 円 セミナー第二回参加費 500 円×10 名=5,000 円		11,500 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		45,000 円
	計			
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	3,400 円	四谷区民センター会議室利用料 9/23 第一回および 10/21 第二回用	
	宣伝費	78,181 円	リソグラフィトナー6,300 円、A3 用紙水色 2,500 枚 7044 円、 A3 用紙黄色 1500 枚 5283 円、A4 用紙 2500 枚 4,074 円、 チラシ発送料 55,480 円(明細は別添)	
	リース費	0 円		
	消耗品費	5,752 円	カラーコピー2,120 円、宛名ラベル、プリンターインク 3,234 円、 乾電池 398 円	
	謝礼	10,000 円	チラシデザイン作成料として(図師千代美様)(領収書別添)	
	材料費	0 円		
	交通費	0 円		
	その他諸経費	7,896 円	スピーカー	
助成対象事業費（小計）		105,229 円		
余剰金		0 円		
助成対象外事業費		0 円		
事業総額		105,229 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	新宿区内外より 24 名(ボランティア 1 名含む)の参加があった。新宿区で理解を広め、学校訪問授業につなげる、という当初の目的は、区内小学校先生の参加、また、それを通じた訪問授業依頼があったことにより、小さな一歩ではあるが、果たすことができたと考えられる。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	今事業のセミナーをきっかけにして、区内小学校から初めて「ハンナのかばん」訪問授業の依頼を受けることができた。(2 月 13 日・江戸川小学校)今後、当センターの教材をより広く区内の学校での命の学習、人権・平和学習の場で、活用していただくための第一歩となった。
新たに気づいた課題は何か。	新宿区内からの参加者が四分の一を越えなかったため、今後はより多くの新宿区の教育関係者の参加が得られるよう、いっそうアピールしていきたい。全体としてもより多くの参加者を募るために、広報の仕方をさらに検討する必要があると感じた。
理解者や支援者が広がったか。	一人の先生に理解を得ることにより、その先生からより多くの子どもたち、また先生方に理解を広めることにつながったと思われる。保育園、小中学校、PTA、高校、大学など幅の広い教育関係者に命の授業の一例を示すことができた。
事務局の執行体制は十分だったか。	事務局スタッフ 2 名、ボランティア 1 名により、準備も含め、スムーズに事務を行うことができた。次回への反省としては、受付などきめこまやかな対応をするために、最低 2 名のボランティアの協力を得たいと思う。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	今事業の第二回セミナーで紹介した内容「テレジン収容所の先生と子どもたちの学び」をより詳しくわかりやすい展示パネルとして製作し、広く先生方、子どもたちに見てもらえるよう紹介したい。
その他	今事業は助成金をいただき宣伝費をかけることができたために、今回は参加に結びつかなかった先生・保護者の方々にも当センターの活動を知っていただく機会、また平成 17 年度にいただいた助成金で作成した「ハンナのかばん・スタディガイド」についても、広く告知ができたと思います。有難うございました。

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
* 参加者の意見なども報告してください。

参加者の感想(抜粋)より

「図書館の仕事で江戸川小学校に入りました。課題図書でハンナの本が入ってきて、衝撃を受けました。生徒にも読ませたら感動したと言っていました。毎年7月は学校で戦争のことをしています。今年はハンナの本の読み聞かせをしました。今回はチラシを見て、無条件に行きたいと思いました。本のストーリーに感動したとともに、石岡さんが一つ一つ足を解明していくことに感動を覚えました。会いたいと思いました。学校にも来てほしいと校長とも話をしています。新宿第一号となるようがんばります」

(小学校教諭 図書科)

「本校の社会科の教員は校長を初めとして、平和学習に対する問題意識を高く持っています。国語科の私も教えられることが多いのですが、国語の視点としては「エピソード評価」の大切さを強調しています。事実を知ることや歴史認識はもちろん大切ですが、悲劇は一人一人の命と人生にふりかかる。それを数や観念とともに想像(=実感)の中で受けとめるという立場です。「アンネの日記」や「ハンナのかばん」はまさにそのような学習対象となります。来年は「ハンナのかばん」の読書会や学集会を予定しています。今回はベースを教えていただきました。有難うございます。」

(中学高校教諭 国語科)

「今日はありがとうございました。また10月21日に参加させていただきたいと思います。皆さんから教えていただくことが多々ありました。できれば、あの素敵なカナダの高校生の歌声をホームページで紹介していただければ私のブログでも紹介したいなあと思います。Gooのライブラリーで「天空のライブラリー」として未来の子どもたちに何か「平和」ということを伝えられればと思い作成しています。またよろしく願いいたします。」

(一般)

「ホロコーストに関しては、そういうことがあったと知識ではわかっているが、伝えるのはなかなか難しいと思っていた。でも(今回の)セミナーを受けてみて、今日の資料や絵、子どもの視点を、というのは良い、使えると思った。」

(中学高校教諭 英語科)

「小学校5年生の息子が学校の課題図書でハンナの本を読んだのがきっかけできました。小学校で読み聞かせボランティアをしているので、今年も小学校でハンナの紙芝居をしたいと思います」

(保護者)

「ぜひお願いしたい。学校や市に頼らず、市民の力でがんばりたい。学校の先生にハンナの話をしているが、忙しいと言われる。校長、教頭にも話している。子どもたちへ飲んべえの父ちゃんたちにもこの取り組みを知ってほしい。」

(一般)

「収容所の中の学校に関しては、歴史的にも面白いと思います。資料を見せていただければと思います。私も歴史を学ぶものとして目にしたいと思います。」

(高校教諭 歴史科)

「命のことを子どもたちに伝えたいと思って参加しました。教育再生を言われていますが、一区民として学校の先生方にエールを送りたい。ですが、石岡さんの活動のほうがよっぽど子どもたちに聞かせたら良いのではないかと思った。」

(保育園教諭)

「他の先生に ” 行って来て ” と頼まれて、使いたいにきて来た。ニューコスモス(「ハンナのかばん」が掲載されている英語の教科書)を使っているのでハンナのところを急いで予習してきた。子どもたちにリアルに伝えられると思う。」

(高校教諭 英語科)

*その他の添付書類は以下のとおりです。

- 今事業の宣伝チラシ
- NPO 法人ホロコースト教育資料センターニュースレター23号
(6 ページに今事業の報告を掲載)